

大北っ子 元気に登校、笑顔で下校！ あまごい森（学校だより）

令和4年度

6月24日号

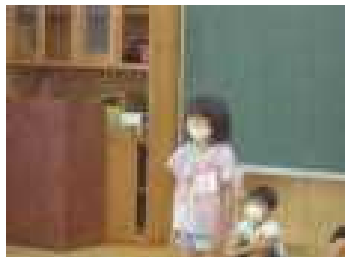
大里北小学校
校長 平良 正哉

平和を考える6月の取り組み



6月は沖縄にとって特別な月で大北小でも平和月間でいろいろな学習をしています。23日の慰霊の日を前に22日は平和集会をオンラインで行い各学年での取組やその感想の発表がありました。

平和集会は児童会が中心となって進行し、淳子先生が各学年の取り組みを説明したり、絵本の読み聞かせもしていただきました。最後は全員で「命のリレー」を歌いました。



取組内容は学年で違いますが、戦争の悲惨さや命の大切さ、これから私たちはどうしていけばよいかなどじっくり考えることができました。ひとりひとりの考えをハトの形に切った紙に

書いて、まとめて掲示物を作っています。

各学年の発表は以下のみなさんでした。

〈1年〉 さん

美津子先生の絵本読み聞かせ「白旗の少女」を聞いて命を大切にしたいと思いました。

〈2年〉 さん

ひとりぼっちのつるちゃんはかわいそうだと思います。これから僕は友だちを一人ぼっちにさせないように優しく声をかけたいです。

〈3年〉 さん

沖縄戦だけでなく世界の戦争についても話を聞きました。国と国が仲良くしあう平和な世界がいいです。私は友だちと仲良くしたり協力していきます。

〈4年〉 さん

白旗の少女、比嘉とみこさんが言いたかった「勇気や思いやりが大切で、戦争はやりたくない」ことや自分は何ができるのかを考えることができました。

〈5年〉 さん さん

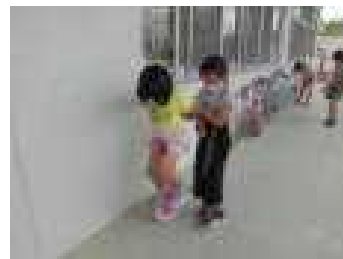
私たちはぜいたくで恵まれていると思います。そして、戦争は忘れたころにやってくるので、それを防ぎたいです。玉城貞夫さんが体験した戦争のこわさを伝えながら、いじめや差別をなくせるよう心がけていきたいです。

〈6年〉 さん

沖縄戦のことは幼い子供でも忘れられないほどたいへんなことだったんだなあと思いました。ひとりあたり52発の弾が当たったことになるなど、想像するだけで怖くなりました。

友だちと仲良くしていじめをなくし、あたりまえのことに感謝して大切にしていきたいです。

一輪車・竹馬・仕切りの寄贈感謝



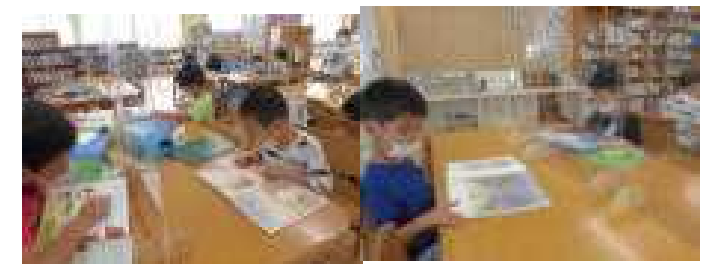
コロナ禍で活動制限もありますが、ようやく梅雨も明けて元気に外遊びもできるようになっています。

津波古充仁様、与那原自動車様、技研様から一輪車と技研様からは竹馬のプレゼントをいただきました。

また、トランス・コスモス様からはコロナ感染対策用にと透明の亚克力製パーテーションをいただき、図書室などで感染対策に活用しています。竹馬を組み立てるのにボランティア委員のみなさんと上原良三さん、上原建正さんに協力してもらいました。

学校で安全に楽しく過ごすためにたくさんの方に協力していただいていたことにありがとうございます。

感謝して大切に使用したいと思います。



児童の登下校時の安全について

先日、登校途中の児童が急ブレーキを踏んだ車の後ろにいたバイクの転倒を見てしまいました。転倒する様子は衝撃的でその児童はしばらく泣き止まずショックが大きかったことが伺えます。

学校内の駐車場でも次のことを保護者の皆様をお願いします。①駐車場内は徐行②雨天時も停車は駐車スペースで③児童は駐車場内も走らない④障がい者用スペースには駐車しない。日ごろから交通安全の意識向上とマナー指導をよろしくをお願いします。

